

# Archetype Echoes、第1弾 “カトレア [Archetype]”

## 守屋里衣奈による『カトレア』配信リリースのお知らせ

クレービルド株式会社が運営する音楽プロジェクト「Archetype Echoes（アーキタイプエコーズ）」は、2026年2月22日に公式サイトでの公開と同時に、同プロジェクト初となる“Archetype（原型）”作品として、新曲『カトレア』を配信リリースいたしました。本作は、一輪挿しの薄紫の花を見つめる場面から静かに始まり、「日常に潜んでいる愛」と「消えない記憶」をそっと見つめるような楽曲です。

ボーカルには、かつてYMOの高橋幸宏氏のプロデュースのもとメジャーデビューを果たしたシンガー、守屋里衣奈（Riena）さんを迎え、アナログビンテージサウンドの上に、透明感と芯を併せ持つ歌声が重なっています。



### 一輪挿しの花がひらく、「大切な悲しみ」と「愛」の物語

誰にも気づかれないような小さな日常の一場面に、自分の心の状態や、再現性のない出会い・突然の別れが重なっていく。その積み重ねが、「大切な哀しい出来事」「大切な哀しいぬくもり」として心に残り、やがてそっと飾られる場所を見つけていく。その感覚が、『カトレア』の歌詞とメロディの軸になっています。

アレンジ面では、過剰な加工や「厚化粧」を避け、NEUMANN M149 Tubeなどのマイクやビンテージ機材を用いた、呼吸感の残るレコーディングを選択。小さなパーソナルスタジオでのシンプルなセットアップだからこそ、声と楽曲そのものの純度が前面に出る仕上がりとなりました。



### ボーカル：守屋里衣奈という「今の声」

本作のボーカルを務める守屋里衣奈さんは、かつてYMOのメンバーとしても知られる高橋幸宏氏のプロデュースでメジャーデビューしたシンガーです。

音楽活動からしばらく距離を置いていた彼女に、『カトレア』を含む複数のデモ音源を提示し、その中から本人が自ら楽曲を選択。レコーディングでは、テンポの微調整以外の大きな変更は行わず、「今の声」をそのまま記録することを重視しました。流行の歌い回しやエフェクト処理ではなく、「声色・声質」そのものが主役となる世界観の中で、里衣奈さんのボーカルは、“カトレア”という名前のついた愛の物語を、丁寧で奥行きのある温度感で描き出しています。



### Archetype Echoes について：音楽のオープンソース化

Archetype Echoes は、音楽を「消費される商品」としてではなく、「楽曲の原型が持つ純度」を大切に扱うことを目的としたクリエイティブ・プロジェクトです。

一つの作品を [Prototype]（譜面・デモ段階）・[Archetype]（原型としての完成形）[Echoes]（他アーティストによる再構築・再解釈）という3つのフェーズに分けて公開し、世界中のクリエイターやミュージシャンが“原典”にアクセスできる環境づくりを進めています。『カトレア』についても、各配信サービスでのリスニングに加え、ボーカルレスのバックトラック音源を公式サイトからダウンロード可能とし、シンガーやプレイヤー、アレンジャーが独自の“Echoes”作品を生み出せるように開放しています。

本件に関するお問い合わせ先

クレービルド株式会社 / アーキタイプエコーズ 担当：中野 Tel：050-3184-2951

E-Mail：teto@archetype-echoes.com <https://archetype-echoes.com>

